MASPRO

CATV 屋内用 ブースター

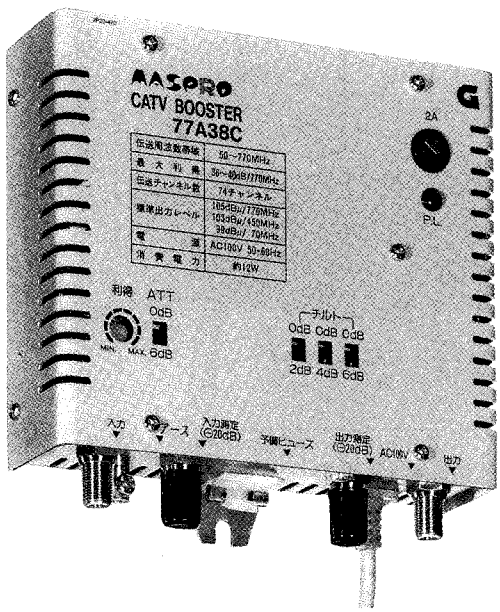
取扱説明書

CATV BOOSTER
伝送周波数帯域 50～770MHz

77A38C

AC100V方式

CATVに加入しているビル・マンション・アパート内の分配損失を補償するハイパワーブースターです。



MASter of PROduction
生産の革命

大規模CATVに対応する性能と機能

低ひずみ

高性能パワーICと最新の回路技術によって，74チャンネルのTV信号を低ひずみ率で増幅し，伝送することができます。

チルト調整付

同軸ケーブルの周波数特性によって発生する信号のレベル差を補正できます。

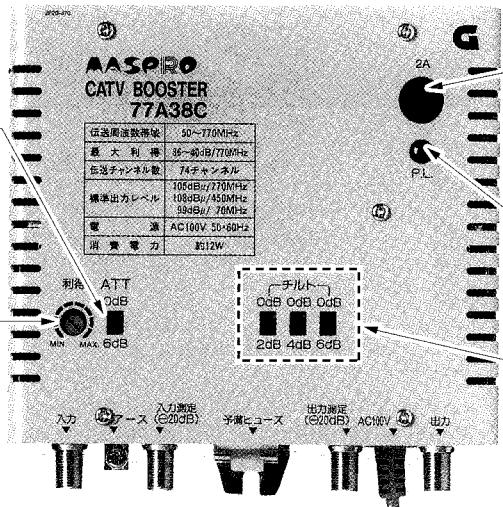
スイッチングレギュレーター方式の電源

電源部は効率の良いスイッチングレギュレーター方式ですから，小形・軽量です。

●ご使用の前に，この「取扱説明書」と「安全上のご注意」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

親切・技術の
MASPRO
=マスプロ電工=

各部の名称と機能



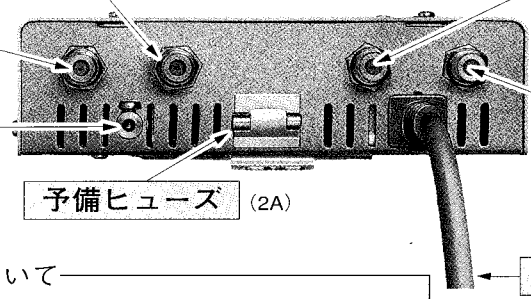
ATT(6dB)
出力レベルを6dB下げることができます。

利得調整
出力レベルが0～⊖7dBの範囲で連続して調整できます。

ヒューズホルダー
（ミゼット管型ヒューズ　定格2A）
ヒューズが溶断した場合，原因を取除いてから，予備ヒューズと交換してください。
(定格値を超えるヒューズは絶対に使用しないでください)

パイロットランプ

チルト(2,4,6dB)
2dBステップで最大12dB／70MHzまで調整できます。(770MHzの出力レベルは変わりません)



入力測定端子(⊖20dB)

入力端子

アース端子

出力測定端子(⊖20dB)

出力端子

予備ヒューズ (2A)

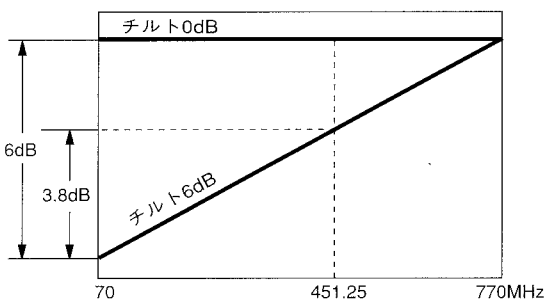
電源コード (約1m)
コードを延長するために，途中で切断して別のコードをつなぐことは，電気設備技術基準で禁じられています。

ATTと利得調整について
製品出荷のときATTは6dB側に，利得調整はMIN.の位置にしてあります。

チルト切換について

- チルトの表示値は，770MHz を基準とした70MHzのチルト量です。
- チルトを切換えても，770MHzの出力レベルは変わりません。

チルト6dBの場合



451.25MHzを基準としたチルト量

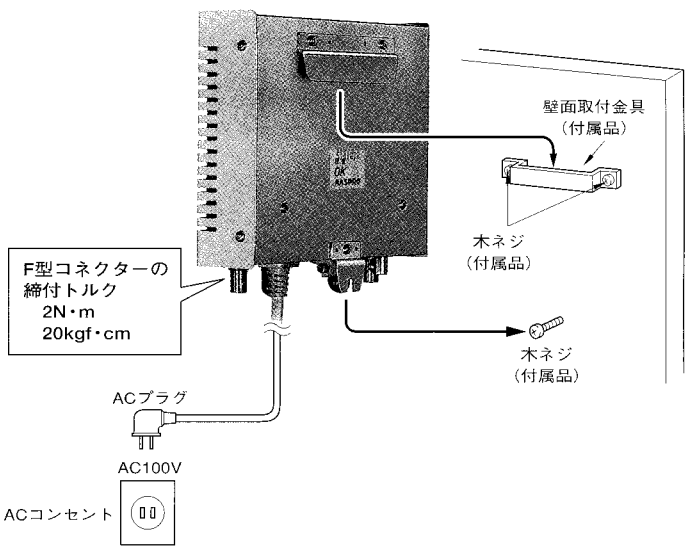
451.25MHzを基準としたチルト量は
下表のようになります。

チルト表示	451.25MHz基準のチルト量
2dB	1.3dB
4dB	2.6dB
6dB	3.8dB

取付方法

機器収容ボックスに取付けてください。

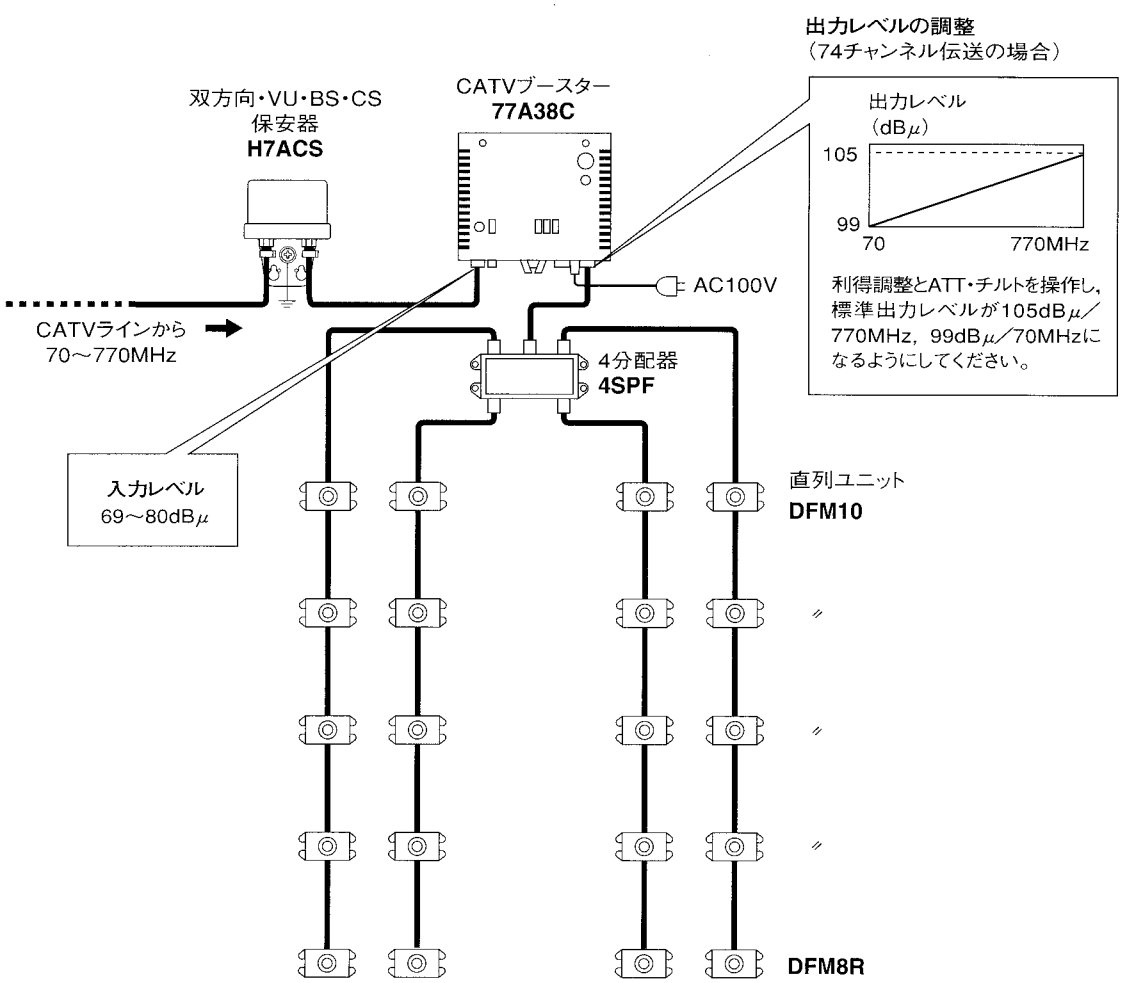
- 収容ボックスにACコンセントを用意してください。



ご注意

- ACプラグは，共同受信の配線工事がすべて終了してから，コンセントに接続してください。
- ブースターは内部温度上昇を防ぐため，グラスウールのような断熱材の上に置いたり，包んだりしないでください。

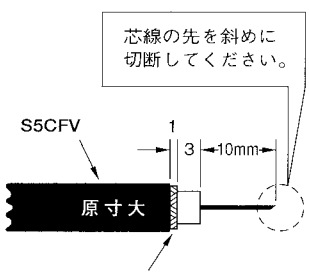
使用例　5階建てマンションの20端子分配例



F型コネクター(FP5)の取付方法

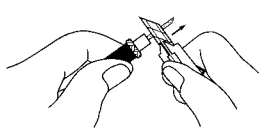
接触不良やショートを防ぐため，プラグはていねいに取付けてください。

❶ ケーブルの加工



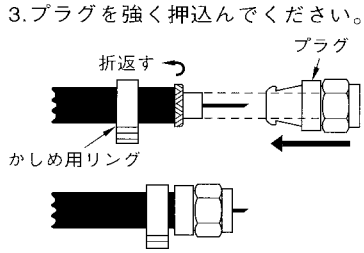
あみ線(銅編組)をニッパー（またはハサミ）で，1mm残して切ってください。

❷ 芯線には白い膜が付いています。導通を良くするために，必ず取除いてください。



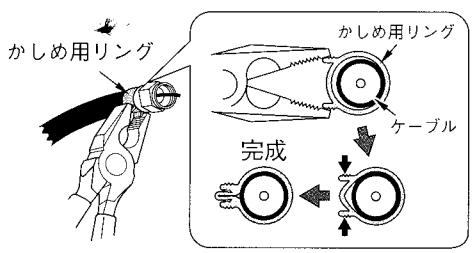
❸ プラグの取付

1.かしめ用リングを，ケーブルに通してください。
2.あみ線（銅編組）を折返してください。
3.プラグを強く押込んでください。

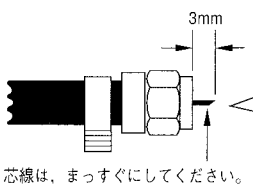


❹ かしめ用リングをペンチで圧着

プラグが抜けないようにプラグの根元で，しっかりと圧着してください。



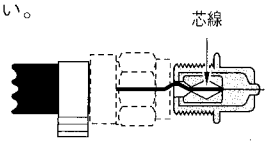
完成図



芯線は，まっすぐにしてください。曲がっているとショート状態になります。

ご注意

F型コネクターのメス側は袋状になっています。芯線が8mm以上出ていると，下図のように芯線が曲がって，ショート状態になります。特に注意してください。



規格表 Specifications

MASPRO

項目 Items		規格		
伝送周波数帯域 Frequency Range		50～770MHz		
伝送チャンネル数 Number of Transmission Channels		74チャンネル	57チャンネル	32チャンネル
標準入力レベル Operating Input Level		69dBμ	71dBμ	73dBμ
標準出力レベル Operating Output Level		105dBμ/770MHz 103dBμ/450MHz 99dBμ/70MHz	107dBμ/770MHz 105dBμ/450MHz 101dBμ/70MHz	109dBμ/770MHz 107dBμ/450MHz 103dBμ/70MHz
最大利得 Maximum Gain		36～40dB/770MHz		
出力レベル調整範囲 Output Level Control Range	利得 Gain	0～⊖7dB以上(連続可変)		
	ATT	0,6dB切換		
	チルト Tilt	最大12dB(2dBステップ)／70MHz ※		
周波数特性 Frequency Flatness		2dB以内		
利得安定度 Temperature Stability		±1dB以内		
雑音指数 Noise Figure		8dB以下(ただし50～550MHzは7dB以下)		
入・出力インピーダンス Input/Output Impedance		75Ω(F型コネクター)		
VSWR		2以下		
2次相互変調 2nd Order Intermodulation		⊖60dB以下		
複合3次歪(CTB) Composite Triple Beat		⊖60dB以下		
混変調 Cross Modulation		⊖58dB以下		
ハム変調 Hum Modulation		⊖70dB以下		
測定端子結合量 Tap Value of Test Point		⊖20dB(F型コネクター)		
使用温度範囲 Temperature Range		⊖20～⊕40℃		
電源 Power Requirements		AC100V 50・60Hz		
消費電力 Power Consumption		約12W		
外観寸法 Dimensions		145(H)×152(W)×47(D)mm		
質量(重量) Weight		約0.7kg		
シンボル Symbol		⊣▷		

※ 770MHzを基点とした70MHzでのチルト量です。

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

付属品

F型コネクター(FP5) …… 2個
木ネジ …… 3本
壁面取付金具 …… 1個

MASter of PROduction
生産の匠

正しく使用していただくために

予定の出力レベル，あるいは，よい画質が得られないときは，次のチェックをしてください。

① 画質が悪い ―― 出力レベルが正しく調整してありますか。

② 出力測定端子に信号がでない ―― 入力信号が来ていますか。
●入力ケーブルのチェック
●入力側コネクターとケーブルとの接続をチェック
電源のチェック

以上の方法でもトラブルが解決できない場合，お近くの当社支店・営業所か，本社技術相談にお問合わせください。

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディア・CATVの
＝マスプロ電工＝

本社 〒470-0194(本社専用番号) 愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋(052)802―2244
工事営業部 〃 (052)802―2225
技術相談 〃 (052)805―3366

支店・営業所
沖縄 (098) 854-2768
鹿児島 (099) 226-9200
宮崎 (0985) 25-3877
熊本 (096) 381-7626
長崎 (095) 846-6872
福岡(支) (092) 531-3861
北九州 (093) 941-4026
下関 (0832) 55-1130
徳山 (0834) 32-2954
広島 (082) 230-2351
松江 (0852) 21-5341
岡山 (086) 252-5800
松山 (089) 973-5656
高知 (088) 882-0991
高松 (087) 865-3666
姫路 (0792) 34-6669
神戸 (078) 843-3200
大阪(支) (06) 6635-2222
工事営業 (06) 6632-1144
京都 (075) 341-0595
和歌山 (0734) 73-8867
津 (059) 234-0261
岐阜 (058) 275-0805
名古屋(支) (052) 802-2233
工事営業 (052) 804-6262
豊橋 (0532) 33-1500
静岡 (054) 283-2220
松本 (0263) 57-4625
福井 (0776) 23-8153
金沢 (076) 249-5301
新潟 (025) 287-3155
横浜 (045) 784-1422
渋谷(支) (03) 3409-5505
工事営業 (03) 3499-5631
秋葉原 (03) 3255-7335
青戸 (03) 3695-1811
八王子 (0426) 37-1699
千葉 (043) 232-5335
大宮 (048) 663-8000
前橋 (027) 263-3767
水戸 (029) 248-3870
宇都宮 (028) 660-5008
郡山 (024) 952-0095
仙台 (022) 237-4521
盛岡 (019) 641-1681
秋田 (018) 862-7523
青森 (0177) 42-4227
函館 (0138) 53-7355
札幌 (011) 782-0711
釧路 (0154) 23-8466
旭川 (0166) 25-3111
北見 (0157) 61-0480

2K54-856
B-96-3856-3L